

土砂災害に備える

一般的に土砂災害は、降雨や融雪で地中の水分が増えて地盤が緩み、さらに長雨や強雨が続いたときに発生するとされています。土砂災害の要因となる降雨について、常日頃から注意しておく必要があります。

土石流

山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る現象。



がけ崩れ

雨や雪どけ水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象。



地すべり

雨や雪どけ水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象。



土砂災害に注意して
早めの避難!

こんな前ぶれ現象に注意!!

次のような現象を察知した場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、関係機関へ通報してください。



山鳴りがする



雨が降り続けているのに川の水位が下がる



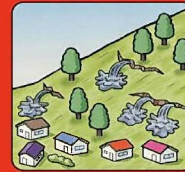
川の流が濁り流木が混ざりはじめる



小石がバラバラ落ちてくる



地面にひび割れができる



斜面から水がふき出す

雨に注意しましょう



土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら、十分な注意が必要です。

逃げ方を覚えましょう



土石流は速度が速いため、流れを背にしたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。

避難場所を決めておきましょう



日頃から家族全員で避難場所や避難する道順を決めておきましょう。そうすれば、家族が一緒にいないときでも、避難場所で落ち合うことができます。

雨の降り方と災害発生状況

雨が強くなってきたら、積極的に雨量、予報、警報等の情報を入手しましょう

雨の降り方 (1時間雨量)	人が受けるイメージ	災害発生状況
やや強い雨 (10~20mm)	話し声が聞き取りにくい・ザーザー降り	長く続く時は注意が必要
強い雨 (20~30mm)	傘をさしていても濡れてしまうほど・ドシャ降り	側溝や小川があふれ、小規模ながけ崩れが始まる場合もある
激しい雨 (30~50mm)	バケツをひっくり返したように降る	山崩れ、がけ崩れが起きやすく、危険地帯では避難の準備が必要
非常に激しい雨 (50~80mm)	地面が水しぶきで白っぽくなる・滝のような雨	土石流が起こりやすく、多くの災害が発生する。都市部では地下室や地下街に濁水が流れ込む場合もある
猛烈な雨 (80mm以上)	息苦しくなるような圧迫感を感じる	大規模な災害が発生する恐れが強く、嚴重な警戒が必要

非常持ち出し品

